



なにわ名物 NEWS

2019年9月発行

| な | に | わ | 名 | 物 | 開 | 発 | 研 | 究 | 会 |

2019-No.3

発行: なにわ名物開発研究会

「まぐろスタジアム」で、第22回なにわ大賞贈呈式!



中之島をバックに記念撮影

「走りが速い人と、歌が上手い人の応募がある」と、当会・野村会長が喩えるように、オールジャンルから応募がある「なにわ大賞」。優劣を競う賞ではないだけに、第22回の今年度も、運営委員長の森一貫先生(帝塚山大学名誉教授)をはじめとする9名の選考委員を大いに悩ませた。各賞決定後は、選考委員も我々運営委員のメンバーも納得するおさまり具合。過去に入賞にいたらなかった方がバージョンアップして入賞したケースもある。7月28日(なにわの日)には、オープンしたばかりの「天下の台所 大起水産 八軒家浜 まぐろスタジアム」で贈呈式(も〜て〜式)を挙行。プレゼンターはOSK 日本歌劇団から、元トップスターの高世麻央さんと、現役男役・翼和希さん。男役だった高世さんが美しい女性に戻って(?)いてビックリ。続くパーティで、参加者同士が交流を深めた。(第22回なにわ大賞運営委員長 灰谷幸)



プレゼンターは高世麻央さん & 翼和希さん



「もりあげ樽 DonPa」で鏡開き



生・本まぐろの解体ショーは圧巻!



受賞者のパフォーマンス

- 👑 大賞 なにわ人形芝居フェスティバル運営委員会
- 👑 準大賞 認定NPO法人プール・ボランティア
- 👑 準大賞 たけちゃんの大阪へーほー散歩
- 👑 みんな虹色に輝け特別賞 株式会社グランディーユ 小笠原恭子
- 👑 心の水先案内人特別賞 人生図書館 館長 田中希代子
- 👑 楽しさ灯る特別賞 照明塾 塾長 橋田裕司
- 👑 (公財)大阪観光局特別賞 Osaka Kitchen 稲垣陽子
- 👑 (公財)関西・大阪21世紀協会特別賞 大川進一郎

※敬称略



5月度 月例会 総会・ネットワークパーティー

2019年度「なにわ名物開発研究会」の定時総会が5月24日(金)大阪市中央区の高津宮で開催されました。総会に先立って会の発展を祈願して特別参拝を執り行いました。

第1部総会は大津宮の「芙蓉の間」で2018年度の事業・会計報告、監査報告に引き続き、2019年度の役員変更報告、事業計画案、収支予算案の報告をして滞りなく閉会いたしました。続いて「末広の間」で第2部記念講演会として吉本興業株式会社取締役副社長田中宏幸氏に「吉本も変わって来ました!」というテーマで講演をしていただきました。吉本興業の発祥から現在に至る芸能エンターテインメントの変遷を劇場や具体的な有名芸能人の写真を見せていただきながら熱くお話しいただきました。またラジオからテレビに変わり、現在はYoutube やInstagram などのSNS への変革で芸能人の活動手法も大きく変わってきていることの実例を紹介していただきました。最後に第3部ネットワークパーティを開催して参加された皆様の交流とPR タイムで皆さんの活動を宣伝していただきました。



ネットワークパーティー



恒例の大阪締めで閉会



田中宏幸氏

(事務局長 山口義博)

6月度 月例会 「伊賀の魅力は忍者だけでない! 大阪は?」

行動する都市計画家：加藤寛之様をゲストに迎え「伊賀の魅力は忍者だけでない! 大阪は?」と題して講演をいただきました。立命館大学政策科学部をご卒業以来、20年以上様々な街づくりに携わられたご経験をお話いただきました。どのような街に兆しがあり、少しずつ「何か」がおきており、その兆しをみつけ一緒にその兆しの方向へ歩いてみる→その兆しを感じる人にフォーカスをあてて少しずつ事業を起こしながら街を変えていくというお話をいただきました。みんながよくなるのはゴールで、プロセスにみんなのためを持ち込むと物事の視点がずれ



加藤寛之氏

進まなくなるといふ、体験に基づいた貴重なお話をして頂きました。伊賀での具体例は「伊賀=忍者」なの?とい視点からあらたなマーケット創造をしていくまでの大変判り易いお話でした。いい町を守り育てるシンプルなメソッド(5つのメソッド)①現在地を知る(ないものねだり・勘違いは×)②ファンづくり(人にフォーカス)今あるコンテンツの再評価②柔軟な仮説・ビジョン・戦略を組む③隠れたリソースを認識しクロス SWOT 分析で優先順位⑤組織作り、コンセンサスと実行を分ける、トータルプロデュース、この5つのメソッドはあらゆるビジネスにも通ずると感じました。

(ビジネス開発部会 部会長 濱松誠一)

8月度 月例会 サマーパーティー

8月27日、北堀江マザーズにてサマーパーティを開催しました。全員の自己紹介の後、「人間ビンゴ」を行い、参加者同士の交流を深めました。皆様に持ち寄って頂いた景品はどれも魅力的で、参加者は景品選びに夢中になりました。OSK 日本歌劇団の翼和希さんがビンゴのプレゼンターを引き受けてくださり、一段と華やかで明るい雰囲気の中、楽しいイベントとなりました。イベント終盤に設けたPR タイムでは様々な人が登壇してご自身の取り組んでいることや、考えを発表して頂き、理解を深めることが出来ました。また、欠席された方からも多数の景品を寄贈頂き、この誌面を借りて感謝いたします。ありがとうございました。また皆様と楽しいひと時を過ごすのを楽しみにしております。

(広報交流部会 部会長 櫻井裕介)



北堀江マザーズさん素晴らしいお店でした



声高らかに大阪締め



盛り上がる人間ビンゴ



美味しい料理に、会話が弾む

な 大阪文化創造部会

第二回の大阪文化創造部会は「ブロードウェイのショービジネス」と「ラスベガスのカジノビジネス」から大阪の未来図を読み解くというテーマで、部会長の中立公平が論壇にたち、8月30日なんばパークスのオーバルレゾナンスを会場に行われました。

前段はブロードウェイという世界最大のショービジネスが、どのような資金の流れで成り立っているのかについて、現地の関係者から直接ヒアリングした内情を細かくご説明しつつ、大阪におけるインバウンドビジネスの可能性とエンターテインメントの必要性をお話ししました。後半はIRの導入が叫ばれる大阪にカジノが導入された場合の、市内域において外国人旅行客がどのような動きになるかを分析予想し、現在から必要な施作についてのお話をさせていただきました。皆様からの活発な質疑応答もあり、大阪文化における黒船のタイミングとなる万博開催とIR、エンターテインメント、劇場文化の醸成などについて考える、とてもよい機会となりました。

(大阪文化創造部会 部会長 中立公平)

な 観光チーム

●6月13日、2月の月例会で講演していただきました宮本倫明様に「博覧会のプロデュースとは？そして観光」について、『観光のひろば』でもご講演いただきました。

1970年『大阪万博』に従事したイベントプロデューサー北本正孟さんに弟子入りし、その後、博覧会のプロデューサー一筋で、経験の引き出しが多いので、引き込まれる話が満載でした。

最後に『万博』の開催意義にいて、“世界にとっての意義”として「持続可能な開発(SDGs)」「日本だけでなく、世界にとってビジネスを広げ、文化を発信する機会」、「大阪・関西にとっての意義」として「大阪の成長戦略の起爆剤に」「世界における関西の認知度向上」の、3つの意義を達成させようと、講演を結ばれました。



宮本倫明氏



●8月は星乃が「最新のインバウンド観光のトレンド！」について語りました。インバウンドの基本から、目からウロコのような最新トレンドの話が満載です。日本人が減少するから外国人でカバー、雇用や経済につながるので国も力を入れる。日本の菜食主義者は5%以下、欧州15%、インド30%。外国人は和式トイレの向きが分からず便器に座る。訪日客の忘れ物は放棄したもの？訪日客の医療の受診5%、73%が保険加入だが「外国人対応の医療機関分らない」「通訳できない」。2021年までに大阪で開業の客室数12,000室が過剰。外国人の買い物は22時がピーク。中国人訪日客に人気の「牛乳」。訪日客「困ったことはなかった」30年度36%などを紹介しました。

このようなトピックスを2555回も配信しているのが、NPO 法人スマート観光推進機構です。一緒に訪日客のことを学びながら、地域が元気になる取り組みを始めませんかと締めくくりました。

(観光チーム リーダー 星乃勝)

な お知らせ

なにわ名物開発研究会のHPが9月よりリニューアル致しました！最新情報をどんどん発信して参りますので、公式 Facebook と合わせて是非ご覧下さい！

なにわ名物開発研究会



な 新人会員紹介



令和元年からなにわ名物開発研究会に入会させていただきました矢野と申します。直近の3月31日まで最後の12年間大阪府で卸、小売、ものづくりの企業支援をしていました。府職員時代には、民間企業にも2年間事業開発で全国を開発営業するなど、商品開発、販路開拓や障がい者雇用推進などを中心にやってまいりました。今は、大阪産業局で産学連携などのプランナーやハンズオン支援のコーディネーターとしてベンチャー企業などの支援を行なっています。ビジネス部に所属することになりました、皆さまよろしくお願いたします。

ヤノキカクシツ 代表 矢野 貴朗(ヤノ タカアキ)

な インバウンド観光コラム(4回連載)

観光チームリーダー 星乃勝

<第4回 大阪に IR(カジノを含む統合型リゾート) がやってくる!>

大阪に IR(カジノを含む統合型リゾート) がやって来そうです。

そして「何故、IR を大阪に持ってこなあかのや」との声も聞こえてきます。IR と言うと「カジノ」ばかりが目につきます。“ギャンブル依存症”が増えたとすれば、それはそれで大問題ですが…

大阪で開催される国際会議の数をご存知ですか？

世界の国際会議は2018年に1万2563件。日本での

開催は492件で世界第7位。国内ではトップが東京、2位が神戸、3位が京都と続き、大阪は7位で東京の22%にしか過ぎません。何故、大阪が少ないのか？ 一番の理由は「大きな会議場が無い」ことです。またインテックスのような「展示場も老朽化」しています。また、それらがバラバラにあるため誘致しにくいのです。MICEという言葉があります。国際会議、企業の会議、報奨旅行、展示会などの総称です。MICEは大きな規模のものが多く、今の大阪では開催が難しいのです。そこで世界規模の大きな施設を作ろうとなり、IRの構想が登場しているのです。

経済効果だけで計算するのは間違いかもしれませんが、世界的な都市には国際会議や展示会が多く、地域のポテンシャルを大幅にあげる効果が、IRにはあるのです。



大阪の地域資源を活用し、
大阪を活性化。

なにわ名物開発研究会とは？

なにわ名物開発研究会は、大阪で頑張る「メーカー」「流通」「サービス」「コンサルタント」「クリエイター」など業種・業態、ついには「業」さえも超えたヒト・モノ・コトのネットワーク組織です。毎月の例会を始めとする多彩な行事で、会員間の交流・関係諸団体との交流を図りながら、大阪の活性化を目指しています。

【正会員】入会金 10,000円・年会費 36,000円

【準会員】入会金 5,000円・年会費 18,000円

Mail : naniwa-meibutsu@ivy.ocn.ne.jp

URL : <http://www.naniwa-meibutsu.com/>

〒542-0074 大阪市中央区千日前2-11-10 いづもやビル4F TEL:06-6643-3150 FAX:06-6643-3140

ええ大人がビジネスも遊びも
本気でやっているのが、

「なにわ名物開発研究会」

の特徴です。

現在新会員を募集中!!

※詳細は事務局までお問い合わせください。